

グループ①:観光/安心安全:うめちかナビの先を考えよう

■問題点(課題)の洗い出し

(観光)

- ・回遊性を上げたい、たくさんの人にきてもらいたい
→ナビ以外の日常的なサービスはないか

(防災)

- ・デュアルユースの重要性
→何が起きているかを知る・伝える(どのように?)

(その他)

- ・デジタルデバイド
→誰でも平等に情報が得られるにはどうしたらよいか

グループ①:観光/安心安全:うめちかナビの先を考えよう

■解決策(必要なサービス)の検討

- Pull情報(自分から取りに行く)／Push情報(情報を配信する)の組み合わせが重要!

(サービス例)

(主にPull情報を使ったもの)

- ナビの新サービス(混雑状況と行きたい店舗がわかる)
 - 一番良い条件を探ることができる
 - 将来的にはパーソナライズ化も

(主に、Push情報を使ったもの)

- サイネージによるオススメ情報配信等
 - デジタルデバイドの問題解決(高齢者等)

(Pull情報とPush情報を組み合わせたもの)

- 緊急地震速報(Push情報)をキックするアプリ
 - 地震発生後に自動的に起動し、避難誘導等を行う。
 - 役所の情報(HP等)と簡単につながる仕組みがカギとなりそう

グループ①:観光/安心安全:うめちかナビの先を考えよう

■必要な情報の検討

(基礎データとして)

- 基盤地図データ(うめちかナビでも活用した)
- 施設情報DB情報(店舗、トイレ、コインロッカー等)
- 歩行空間ネットワーク(傾斜、段差情報、etc..)
→プラットフォームtoプラットフォームでの案内では非常に重要!
- 人流データ
→屋内でどうとるかが課題(屋内カメラ、スマホのスキャン等)

(主に平常時に使えるデータとして)

- 飲食店のリアル空席情報

(主に災害時に使えるデータとして)

- 一時避難情報コミュニティ
- 信号情報(位置や、どのタイミングで変わるか等)
→警察が持っている?
- 危険情報(火事、通行不可、etc)

グループ①:観光/安心安全:うめちかナビの先を考えよう

■情報の使い方の課題

- 街のデータは更新していくことが重要
 - 更新のロジックは最重要課題。時間も手間もお金もかかる
 - 企業が旗振りを担うのがベターでは？